「永山まちづくり推進協議会」会議録（令和6年度第3回）

○日時 令和7年3月21日（金） 午後6時00分～午後7時10分

○場所 永山公民館 2階 講堂

○出席者 ・委員8名（50音順） （欠席者9名）

葛西委員，紙谷委員，北村委員，工藤委員，高橋委員，土田委員，
幅崎委員，村井委員

・アドバイザー5名

旭川市教育委員会3名

社会福祉法人旭川市社会福祉協議会2名

・事務局職員4名

永山支所長，同副支所長，同市民係主査，永山公民館長

○会議の公開・非公開 公開

傍聴者0名

○会議資料

・会議次第

・令和6年度永山まちづくり実行委員会の事業報告及び決算

・令和7年度 地域活動計画（案）

・スノーバスターズ 雪みちパトロール実施要領（2025）

・旭川市地域学校協働運営活動推進事業に係るアンケート調査

・ボラセン通信 2月号

・地域まるごと支援員通信 第12号

※当会議録中では，次のとおり表記する。

・永山まちづくり推進協議会を「協議会」という。

1 開会

2 会長挨拶

会長が不在のため，副会長から第3回協議会開催の挨拶を行った。

3 議事

（1）永山まちづくり推進協議会の事業執行状況について，及び（2）令和7年度地域活動計画について

会長に代わり副会長が議事進行を行い，それぞれの実行委員会の事業実施状況や成果と課題についての説明や意見交換を行った。委員や事務局の主な発言は次のとおり。

(委員)

地域のオタスケマンは約10年間くらい続いている事業であります。限りある時間でしたが児童から「会長さんはどうやって決めるのですか」などたくさんの質問をいただいております。ごみステーションや防犯灯の電気代についてですとか、そのほかいろんな事業や行事について、屯田まつりの話などもお話してきました。この活動は、本来は永山南小、永山小学校、それから東小学校と広がっていきたいと考えているんですけど、なかなかやってくれる学校がなく非常に思い悩んでいるところがございます。将来的に子ども達がほかの土地に行っても、地域のオタスケマンとして活動してほしいなという願いを込めて行っております。

(委員)

旭川市立大学で実施した事前学修で、屯田まつり実行委員長からまつりの歴史について話をしてもらい、南西地区市民委員会女性部長から踊りの指導をしていただきました。そのあと地域の方と4つのグループに分かれ、交流をおこないました。グループごとに話の中身がちがっており、学生にとっては違うグループの話も聞いたのかなと思っております。1週間後の本番を迎えるまでも何回か練習をしていたと聞いております。当日の7月28日(日)は52名の学生と5名の職員の参加がありました。市民委員会の参加者は高齢化により人数が減ってきているんですけど、公民館で活動している踊りのサークルの方も参加してくれたので、割と人数は多くなったかと思っております。この活動を通して学生が地域の文化や歴史について理解を深め、今後地域に残り地域の担い手として参加してくれることを大いに期待しているところです。

(委員)

昨年度の屯田まつりの舞踊パレードを見て、私のところに男性から電話がかかってきまして。一度会ってきたんですけど、「ぜひ来年度は屯田まつりの舞踊パレードと旭川夏祭りの舞踊パレードにも参加したい」とのことでした。

(事務局)

永山地区子どもの学習支援事業については、自習室が居場所となっている利用者もいることから、来年度も継続して実施していきたいと考えております。学生の都合などにより来年度の開放日については現時点で未定となっております。決まり次第チラシなどで周知を図っていきたくて考えております。

(委員)

スープの冷めない“きずな”づくり事業は今年度3地区に行いました。それぞれ100名を超す参加者となりました。地域の住民と学生との交流につながっ

たかなと思っているところです。今までは短期大学の学生さんが中心となっていました。今回は大学の方の学生さんも参加して下さったので、学部を超えた連携につながり、訪問時の声掛けなど互いに勉強になったとの報告をいただいております。また、永山でサツマイモを普及していきたいということがありますので、サツマイモを入れた汁を作っていたいただいたわけなんですけど、メニューは学生が考え、農業者との連携によって地域の食材を皆さんに配布できたということも大きな成果と思っているところです。生産者が作り、届けるまでを一貫して永山でできたということも評価していただいたところです。食材の高騰と参加者が多かったことから、予算超過してしまいましたが、次年度の実施を希望されている地域もあり、地域のボランティアが中心となって動いてくださるところから、主体的な地域づくりにつながっているのではと期待しているところです。

(委員)

永山健康マイレージ事業では、クッキング教室と口腔講話を4回実施し、42名の方が参加されております。講師も委員に御協力いただき、簡単に多くの食品を摂取できるメニューを調理しております。「とても楽しかった」「来年もしてほしい」との御希望を聞いております。チラシは1,400部配布しております。昨年度と同様160名程度の応募がありましたが、今回初めて必ず歯科受診をすることを条件にしたものですから、約30名の方が脱落してしまいました。結果128名の応募となりました。成果としましては、昨年と比較して口腔体操をする方が増えたりとか、10食品チェックシートについては0.2ポイントアップし、良くなっているという評価ができました。歯科受診のハードルが高いということで受診の必要性を理解していただくことが今後の課題と思っております。また、“やせ”の方のタンパク質不足が目立っており、働き盛りの世代の方に特に偏りがあることが分かりました。御病気ををお持ちの方が食生活のことを考えているけれど、体重を減らすことだけに注目し適切な栄養が取れていないことも分かりました。この事業は色々な企業の御協力をいただいておりますが、永山にある企業の方々と連携しながら介護予防の事業に努めていきたいと思っています。

(委員)

永山南きづな・ほのぼのバザーは認知症当事者だったり、障がいをお持ちの方が地域の中で活躍できる場として実施しております。今年度は約100名前後の方がいらっしゃったかと思えます。地域の高齢者の方しかり、小さなお子さんを連れてお母さんなど、多くの世代の方に来ていただいたのかなと思えます。高齢者や障がいのある方が事業所を通じて参加し、商品の販売や赤い羽根共同募金を担当してもらい、来場者と交流を深めて対応をしていただいております。バザーで売り上げた収入については参加した方にお給料という形で還元させて

いただいて、お手伝いしてくださった方にお給料をお渡ししたら、「嬉しかった」と涙を流して喜んでくださいました。募金も1～2時間程度でしたが2万円くらいいただきまして、短い時間に多くの方の御協力があったと思っております。地域の企業の方にも毎年御協力をいただき、当日の販売や協賛をいただき、販売の売り上げもお給料に反映させていただいております。また、今年は新たに骨密度や血管年齢の測定など健康測定ブースを設けていただき、皆さん興味があるのか実施されていきました。認知症や障がいをお持ちの方の活躍の場だったり、多世代の交流の場として実施ができてよかったなと思います。

(委員)

永山南地域ボランティア養成事業につきましては、昨年度から除雪ボランティアの人数や除雪対象の範囲拡大を目指し、永嶺高校アウトドア同好会の先生と話し合いを進めてきましたが、学校全体として取り組むことは難しいとのお返事があったということで拡大には至らなかったです。しかし市社協のスノーサポートの登録について周知をさせていただいたりとか、アウトドア同好会の学生さんが4名、2世帯を対象にして実施しました。今年積雪があまりなかったということもあったのですが、溜まっている雪をはねたりとか、安否確認で訪問したりとかしていただいたところです。

(事務局)

永山魅力発見隊事業の新年度事業についてですが、永山は家具づくりも盛んですので、今年度木工工作を担当してくれた農業高校の森林科学科の高校生にも関わってもらって、秋ごろを想定し、例えば子ども達に木製のスプーンを作ってもらってそれを使って永山で採れたサツマイモの料理を食べてもらうのですとか、あるいは製材所を見学して木の伐採から家具になるまでを知ってもらってから製作体験はどうかなど、委員の皆さんでアイデアを絞っているところです。いずれにしても参加者が喜んでいただける、そういった事業を実施したいと思っております。

(事務局)

現在、令和6年度の活動をまとめたまちづくりニュースを2,000部発注しております。新年度第1回目の会議で皆様にお配りしたいと思っております。

(副会長)

以上各事業の報告と決算の報告を終わります。事務局の方から補足がありましたらお願いします。

(事務局)

資料「令和7年度 地域活動計画(案)」,まず2ページを御覧ください。令和6年度は9つの事業を実施したのですが,令和7年度につきましては現時点で事業数が1つ減りまして8つの事業を実施する予定です。ただ,まち協の予算額自体は今年度と同額の38万4千円と予定しております。予算の配分についてですが3ページ4ページを御覧ください。スープの冷めない“きずな”づくり事業ですが,令和6年度の決算で食材費の高騰により3万円ほどの赤字になりましたので,その分をプラスして予算額10万円と考えております。あと残りを,魅力発見隊の事業にプラスしております。いずれにしても令和7年度の活動計画は案の段階ですので,皆さんの意見をいただいて意見があれば修正を行い,新年度の最初の会議で決定したいと思っております。御意見がありましたら今月中に事務局に連絡をくださいますようお願いいたします。

(副会長)

今の説明で了解しました。よろしく申し上げます。それでは議事1と2について皆様から御質問,御意見ありましたら発言願います。

(委員)

ボランティア養成事業について,今年度は2件のお宅が対象だったのですが,家の前から道路ぐらいまでを除雪したのですか。道路に除雪が入った場合家の前に雪が置いてあるのは町内でもって片づける,そういう制度もありますので,除雪については玄関から道路までの要望が多いのかなと。そういうことでよろしいですか。

(委員)

はい。基本はそのようにやってまして,危険個所でなければ積み上げた雪をこう持っていくなどもやっています。

(副会長)

皆様から緊急報告ですとか,聞いてほしいことなどありましたらお願いします。また,来年度についての御質問はありませんか。

(委員)

スープの冷めない“きずな”づくり事業について,すごい参加人数が多いですけど,来年度はもっと多くなりますか。

(委員)

どの地域を対象とするかで変わるかなと思っているところです。ただ,一つ目の地域に関しては「継続してほしい」との希望があり,参加費を取りながら必要

なものは自分たちで購入してくださっています。2番目・3番目の地域は今回こちらで用意しましたが、今後検討かなと思っています。ただずっと同じ地域を対象とするわけではなく、包括支援センターでモデル地域を決めながらやっているところがありますので、選ぶ地域によっては世帯数が少ないところもございますし、対象者の決定は町内会との話し合いで決めていますので、それによって増えるのか、減るのかというところです。

(アドバイザー)

魅力発見隊について、製材から家具のまち旭川ということでお話がありましたが、魅力的な話だなと聞いておりました。なかなか製材をとというのは難しいですが、家具工場も団地がいくつかありますので、ぜひ来ていただけたらなど。実は旭川の社会科教本で家具について掲載されています。その写真と同じ場所を見学して「こういうところで家具が作られている」ということを子ども達が勉強できると思いますので、ぜひ魅力発見隊事業の事業の中でお話しいただければと、よろしくお願ひします。

(3) その他について

(副会長)

委員からスノーバスターズについての資料が届いておりますので、説明をお願いします。

(委員)

この資料は2025年1月19日に南市民委員会で実施した雪みちパトロールの様子でございます。前にまち協で「冬みち守り隊」という事業をやったときに、第2, 南, 南西, 第3地区と4つの市民委員会にパトロールをお願いして毎年実施していました。冬みち守り隊がまち協から卒業して、やらなくなったのかと思ったら、毎年各市民委員会で1回はパトロールを行っている。当日は会長のほかに、永山新旭川地区除雪協議会会長、永山新旭川地区除雪センターのセンター長、土木事業所、まちづくり推進協議会からも挨拶をしていただきました。パトロールをする方には真っ黄色のベンチコートを着ていただきまして、裏面に地図が載っておりますけれども各グループごとに交差点や道幅、ザクザク道を確認し、センター長に報告しております。南地区で一番良いのはベンチコートを市民委員会で用意しパトロールする方に着せていることで、黄色が大変目立ち、パトロール中は地域住民の方も「何かやっているの」と聞いてきたり、「ここの交差点が見づらくて、この間も交通事故があったんですね」と話が聞けたりですね、大事だなと考えております。冬みちのパトロールをやっているのは永山地区と、忠和地区と神楽地区、この3か所くらいなんです。他の地域へも冬の安全・安心を守るためにぜひパトロールをやってくださいということをお話しております。

(副会長)

アドバイザーの皆様にもぜひお話していただきたいと思います。いかがでしょうか。

(アドバイザー)

スープの冷めない“きずな”づくり事業には、実習生2名と参加させていただきました。地域の方と触れ合うことでどういう課題を抱えているのかだとか、学校では学べない実地体験ができ、学生さんからは「地域福祉に興味関心を持つことができました。今後に生かしていきたい。」というお話も出ていました。こういった活動を繋げていって、福祉職への道を進むときに経験を活かしてもらえたらと思っております。

(アドバイザー)

永山地区は中規模、大規模校というところで永山小、西小、南小、あと永山中、永山南中学校と市内でも人数が多いんですね。皆様方には子ども達の安心・安全のためいつも御尽力いただき感謝しております。その中で学校のクラブ活動でこういうことがしたいというお話やこういう団体があるよというお話をお聞かせていただけたら、学校への支援や、子ども達のためにもなりますのでお力添えをお願いします。

(アドバイザー)

実際に永山西小学校から相談があり、来年度「永山クラブ」という永山地域の人たちが講師となるクラブ活動を作りたいという話がきています。永山の前にモデル地域となった旭川小学校で3年前からやっているものです。永山西小学校には公民館の生涯学習団体ですとか、市民委員会会長ですとかにお声がけしているところです。クラブ活動は授業ではないので、結構いろんなことができます。例えば、子ども達へ活動を広報する機会として使いたいなということも可能です。オタスケマンの事業もありますが、旭川小ではクラブ活動で町内会の話をしたことがあります。地域包括支援センターの方に来てもらって認知症の話をしたこともあります。ぜひ「こんなことをやりたい」と言っていただければ、年間6回、6コマ分の調整の依頼がきてますので、そういう団体がありましたら教えていただければと思います。今、協議会委員の方から、くらしのアプリの使い方子ども達から学ぶことはできないかとお話がきています。学校とこんなことをやってみたいとか、子ども達をこんな風に参加させたいとかありましたら、おっしゃっていただき、一緒に考えさせていただきたいのでお声がけをお願いします。来年度もモデル地域として、関わらせていただきますのでよろしく願います。

(副会長)

ほかに皆さんの方からございませんか。

(委員)

今年新しくなった永山西小学校では見学会を予定しているみたいです。西小学校では新しくいろんなことをやろうとしていることでもありますので、皆さん参考にしていただきたいです。それから旭川市立大学がすごく協力していただいている。町内会・市民委員会のなり手がいないということ、町内会の会員をどうやって増やしていくかとの話を大学の先生と試行錯誤しながら、学生さんも巻き込んでやっております。屯田まつりについては別の先生のゼミであんどん制作についてお手伝いいただいたりして、大変お世話になっている。ぜひ他のところでも大学の学生さんを巻き込んで永山のまちの活性化をしていきたい。例えば学生さんに町内会役員をやってもらおうとか。極端な事を言うと高校生まで伸ばして役員をやってもらおうと。この間札幌のテレビで小学校5年生から町内会役員をやっている女の子がおりまして。5年生6年生と地域でボランティアに参加して、中学生になったとたんに部長として町内会の役員をやったという事例を紹介していました。こういうこともいいのではないかと考えています。

(委員)

今のお話にありましたが、以前札幌の方で町内会の会長さんが役員の手を探していましたが、学生さんが協力していただけるなら、ぜひお話を聞きたいなと思いました。

(委員)

ボランティアに興味のある学生さんもけっこういますので、ぜひ巻き込んでいきたいなと思っております。

アドバイザーから「旭川市地域学校協働運営活動推進事業に係るアンケート調査」の協力依頼があった。

令和7年度から予算を事業費に充てるほうが良いのではなどの意見から、補助対象からお茶を外すこととなった件について事務局から説明。

4 閉会

会計から閉会の挨拶があった。